

日本スタートアップ大賞 2023



国土交通大臣賞
(国土交通スタートアップ賞)

 **ANDPAD**

株式会社アンドパッド



NIPPON
STARTUP
AWARD
2023



国土交通大臣賞 (国土交通スタートアップ賞)

NIPPON
STARTUP
AWARD
2023



デバイスによって
読み取れない場合があります。

<https://andpad.co.jp/>

株式会社アンドパッド

〒101-0022 東京都千代田区神田練堀町300 住友不動産秋葉原駅前ビル8階



代表取締役

稲田 武夫

慶應義塾大学経済学部卒業後、株式会社リクルートにて人事・開発・新規事業開発に従事。2014年アンドパッド(旧:オクト)の事業を開始。「現場監督や職人さんの働くを幸せにしたい」という思いで、建築・建設現場の施工管理アプリANDPADを開発。



現場効率化から経営改善まで建設業界のDXをトータル支援

VISION

事業のビジョン

「幸せを築く人を、幸せに。」をミッションに、現場効率化から経営改善まで一元管理できるクラウド型建設プロジェクト管理サービス「ANDPAD」を展開しています。

建設業は、長時間労働に加え、低生産性により賃金が上がらず、若者離れ・高齢化・人手不足が深刻な課題になっています。また、建設業の約95%が中小企業であり、業界全体の課題解決のためには、地域の中小企業、特に地方の工務店のDX推進が不可欠です。建設業界の深刻な課題の根本原因として、紙・電話・FAX等によるアナログな現場環境による生産性の低下があげられます。当社は、建設業界に特化したSaaSサービスを提供し、DX推進による業界課題解決を目指しています。

OVERVIEW

事業の概要

ANDPADは、建設業界に特化し業務効率化に資する多様な機能を兼ね備えたオールインワンのソリューションです。従来は把握が困難だった建設現場の状況も、写真やチャット機能によりスマホから関係者全員でリアルタイムに把握が可能となります。オンラインで完結できる電子受発注機能、問合せからOB顧客までの顧客情報の管理や案件ごとの粗利率をリアルタイムに把握できる引合粗利管理機能も提供しています。

2016年のサービス提供開始以降、住宅領域のリフォーム・中小工務店から新築・大手住宅メーカー、非住宅領域、中小ゼネコン・専門工事業界へと活用が急速に広まっています。誰もが簡単に操作できるUIに加え、年間6.3万人を対象にした操作説明会・電話サポートといった丁寧な教育を実施し、サービス規模は、利用社数15.6万社、ユーザー数41.3万人に達しています(2023年1月時点)。

ANDPADアプリマーケットでは、APIを公開しており、顧客管理・経理/会計・遠隔臨場等様々な他企業民間サービスや、CCUS等の公共データとも連携し、建設業界の業務支援ツールのプラットフォームとなっています。また、国土交通省のモデル事業として木造住宅をBIMで建築する先進的な検証など、最先端技術を活用した実証実験も複数行っています。

2023年1月には、建設DXを率いるスタートアップらと共同で、業界課題の解決等を目的とした任意団体「建設DX研究所」を立ち上げました。関係省庁や国会議員とも連携しながら、最先端のIT知見を共有し、業界課題解決・DXの推進に貢献していきます。

HISTORY

起業に至る 経緯・動機

新卒入社した株式会社リクルートで事業開発の経験を得て、2011年に27歳で同社に在籍しながら起業しました。優秀なエンジニアが人生をかけてチャレンジできる、社会問題に向き合う会社の設立を決心し、生きるために不可欠な衣食住の『住』に取り組むことにしました。建設現場を訪ねた際の『スマホで施工管理をしたい』という職人の声がANDPADの礎となっています。